

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	400100	TEL	2998-9256		
事業コード	「市議会だより」作成事業(テープ・点字版含む)		議会事務局					
400101	開始年度 昭和45 年度 → 終了年度 年度		グループ	調査担当				
②事業の概要	事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	なし			なし			
	関連・類似事業	広報とことろざわ(広報課)						
	総合計画の体系	章 行財政運営	節 地方分権	基本方針	自治体としての自立性を確保します			
事業開始の背景	昭和45年、市制施行20周年を迎え、県南西部の中心都市として発展しつつある中、議会活動を通じて変動する市の状況や市民の要求・課題を伝えることが市民の生活向上につながると考え、「とことろざわ市議会だより」の発行に至った。また、国際障害者年(昭和56年)を機に、テープ・点字版の市議会だよりを発行することとした。							
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	市議会の活動を広く市民にお知らせすることにより、市民に市政に対する関心・理解を深めてもらう。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	152,639	世帯		
	市民(主に一般世帯)			平成 27 年度	154,559	世帯		
	事業の具体的な内容及び実施方法							
	広聴広報委員会で「とことろざわ市議会だより」を年4回、定例会閉会后1か月以内を目途に作成・発行する。事務局は、同委員会の事務を取り扱うほか、原稿作成・写真取材・編集・構成等を以下の流れに沿って補佐する。 1) 当該定例会の主な論点や市民の興味に沿ったタイムリーな情報を基本に原稿作成を行い、ページ割り、紙面を構成し、編集する。委員による企画コーナーも随時掲載している。 2) 数回にわたり校正を行う。 3) 新聞折込配布のほか、希望者には郵送している。テープ版、デジCD版、点字版、ホームページへのPDF版の掲載もそれぞれ実施している。							
④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額		15,351	16,212	16,332			
	決算(見込み含む)		15,148	15,657				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 0.10 人)	( 人)	( 0.10 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.37 人	3,227	0.37 人	3,204			
	事業費合計		18,375	18,861	16,332			
財源内訳	一般財源	18,375	18,861	16,332				
	国・県支出金							
	その他( )							
⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	年間配布世帯数	年間配布部数/4回	部	124,200	124,050	124,200	159,000
		年間平均郵送数	年間郵送部数/4回	部	59	55	55	7
⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	PDF版のアクセス件数	アクセス件数 前年比5%増	件	10,842	13,716	18,669	19,000
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	120	136	↑どちらかをチェックしてください
⑦改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	平成27年12月発行の177号から、表紙をとことろざわにゆかりのある方の全面写真にし、裏表紙にその方のインタビュー記事を掲載した。			目標値は達成しているが、将来より多くの市民に読んでいただけるよう全戸配布を実施したい。				
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	理由	より多くの市民に読んでいただけるよう、現在行っている新聞折込による配布方法を見直し、ポスティングを導入して全戸配布できるよう改善する。また、より多くの情報を提供するため、ページ数を増やす。			
		方向性の	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	ポスティングが実施できた場合、全戸配布になり発行部数が増える。また、ページ数も増えた場合、予算が増額になる。			
⑨評価	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況			(2) 今後の方向性				
	議会活動を市民に分かりやすく周知するツールとして欠かせない事業である。議会報告会の参加者アンケートでも情報の取得源として多くの方が市議会だよりを挙げている。ホームページでの閲覧数も増えており、引き続き、広聴広報委員会での検討を踏まえ、市民に読まれ、親しまれ、役に立つ広報を目指し、紙面の充実を図っていく。			ここ数年、議会報告会などでも全戸配布の要望があるため、広聴広報委員会においても配布方法について検討していることから、今後は新聞折込等からポスティングによる全戸配布を行いたい。				
	評価日	H28.8.17	評価者職氏名	議会事務局参事 梅崎 恭子				
⑩環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	市議会だよりの発行		規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無